

集中治療部

1. 領域構成教職員・在職期間

部長(併)	重見研司	平成18年4月—
講師	齊藤律子	平成18年4月—
助教	佐上祐介	平成26年4月—
特命助教	松田修子	平成30年5月—令和2年3月
特命助教	鈴木裕紀子	令和2年4月—

2. 研究概要

研究概要

- 低侵襲心臓手術の周術期管理における中心静脈酸素飽和度の有用性検討
TAVIなどの低侵襲心臓手術症例が増加した。オキシメトリーCVカテーテルで得られる酸素飽和度情報がどのような臨床意義を持つか検討する。
- カテーテル関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎、尿路感染予防標準策の効果検証
ICUでサーベイランス対象となるデバイス関連感染症は院内感染として重要で予防策の徹底が望まれる。取組みの効果は定期的に検証し報告していく。
- 敗血症の脳波異常の検討
敗血症時にはせん妄が高頻度で合併する。敗血症時の脳波異常を観察することで、せん妄の早期発見や程度と予後の予測に使えないか検討する。
- 多施設データを用いたDICの重症度評価
JIPADやCRISISといった多施設大規模データベースへ患者情報を登録している。このデータを利用した研究が可能であり、特に患者重症度ごとのDICとリコモジュリンの意義を明らかにする。
- 重症患者の経管栄養と血圧低下の検討
重症患者の経管栄養投与時の血圧変動は投与スケジュールを狂わせ、血糖値の変動にも影響する。安全な経管栄養の投与方法を提案するための基礎的情報を収集する。

キーワード

低侵襲心臓手術, カテーテル関連血流感染, 人工呼吸器関連肺炎, COVID-19, 敗血症, 脳機能, 脳波, DIC, リコモジュリン, 栄養管理, 血糖管理

業績年の進捗状況

特色等

- 低侵襲心臓手術の周術期管理における中心静脈酸素飽和度の有用性検討
酸素飽和度など医療情報がICUデータベースに大量に蓄積されており、これを利用した研究は独自性がある。
- カテーテル関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎、尿路感染予防標準策の効果検証
ローカルなサーベイランス結果の検証から当院の特徴を見極め改善していく。
- 敗血症の脳波異常の検討
せん妄の脳波解析は機械学習の進歩もあり新しい領域である。
- 多施設データを用いたDICの重症度評価
多施設データベースに含まれる患者重症度をうまく利用することは研究手法上の利点になる。
- 重症患者の経管栄養と血圧低下の検討
経管栄養投与時の血圧変動は現場の悩みに比してあまり着目されないテーマである。

本学の理念との関係

特定機能病院ICUとして最先端の低侵襲手術の周術期管理を実践する。デバイス関連感染症の減少を目指しサーベイランスとその評価を徹底し、質の高い安心感のある高度医療を提供する。敗血症時の脳波研究から、高齢化社会で患者の高次機能を維持し安心な入院生活を過ごすことにつなげたい。ICUの全国集計データベースへのデータ提供は特定機能病院大学病院としての責務でもあり、このデータを用いた独自研究を推進することで、地域から全国へより良い提案をしていく。栄養管理を血圧変動なく安全に行い患者さんの安心を高める。

3. 研究実績

区分		総数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
		2014~2019年分	2020年分	2014~2019年分	2020年分
和文原著論文		6	0	—	—
	ファーストオーサー	8	0	22.421(22.421)	0(0)
英文論文	コリスポンデイングオーサー	0	0	0(0)	0(0)
	その他	6	0	15.275(15.275)	0(0)
	合計	14	0	37.696(37.696)	0(0)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

b. 原著論文 (審査無)

c. 原著論文 (総説)

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

b. 原著論文 (審査無)

c. 総説

- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

2056001

長田理, 松木悠佳, 松田修子, 佐上祐介, 荻野芳弘, 重見研司: 自動制御システムの評価を目的とした適切な全身麻酔状態の評価基準の開発, 日本麻酔科学会第67回学術集会, 20200701

2056002

白石貴大, 鈴木裕紀子, 藤永南摘, 西川緑, 三橋梓実, 谷谷由章, 松岡達, 重見研司: 出血時の血圧低下に対するphenylephrine投与の心収縮力(Ees)、後負荷(Ea)、前負荷(Ved)に与える影響の解析, 日本臨床麻酔科学会第40回大会, 20201114

2056003

藤永南摘, 鈴木裕紀子, 松木悠佳, 西川緑, 三橋梓実, 重見研司: 挿管直後の測定値で規格化して経時的にトレンド表示した肺胸郭コンプライアンス値の有用性, 日本臨床麻酔科学会第40回大会, 20201114

2056004

白石貴大, 坂口友里江, 早瀬光代, KK David, 鈴木裕紀子, 重見研司: 左室/大動脈カッピング(Ees/Ea)のモニタによる左心収縮力(Ees)、左心後負荷(Ea)、左心拡張末期容量(Ved)に対するフェニレフリンの影響, 日本麻酔科学会第67回学術集会, 20200701

(3) 国内学会（地方レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額

(B) 奨学金等

受入件数	1
受入金額	¥100,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本集中治療医学会	評議員	齋藤 律子

業績一覧

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
その他	第9回集中治療ミー ティング	齊藤 律子

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員 の別	氏名	査読編数
----------	-------	------------------	----	------

(E) その他